ヒアリングフレイルサポーター初級講座

ヒアリングフレイルサポーター養成講座

累計受講者
1,600人以上
※2023年9月末現在

難聴高齢者との音声対話の課題を理解できる

聞こえに関する仕組みなどが短時間で理解できる

オンデマンド受講にリニューアル!

スキマ時間に
ご自身のタイミングで
ご受講いただけます
※受講期間：購入後、60日以内

ヒアリングフレイルサポーターとは?

ヒアリングフレイルサポーターとは、高齢の聞こえにくい人や聴覚障害がある人とのコミュニケーションを行う場合の「聴覚の基礎知識」と「対話支援技術」を学び、大きな声ではなく、相手に安心していただきながら対話ができる人を呼んでいます。

ヒアリングフレイルサポーター初級講座を動画で解説!

こんなことが学べます

- 老化による聴覚機能低下のメカニズム
- 耳が遠い方との会話の注意点とコツ
- 補聴器の仕組みと種類
- 難聴と認知症の関連性
- 認知症検査での難聴の影響
- アプリを活用したお耳の簡易チェック方法

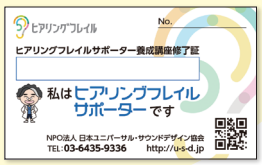
こんな方に受けてほしい

行政職員、医師、看護師、介護福祉士、PT、OT、ケアマネージャー、介護スタッフなど
業務において、高齢の難聴の方や聴覚障がいをお持ちの方と音声においてコミュニケーションを行う必要性がある方

高齢の難聴の方や、聴覚障害をお持ちの方との
コミュニケーションを取る機会が多い方に向けた受講内容となっています。

講座受講者には
受講修了証カードとリングを進呈しています。

ヒアリングフレイルサポーターリング



受講修了証カード

講 座 概 要

- ●対　　象……ヒアリングフレイルについてご興味がある方、どなたでも受講いただけます
- ●セット内容…全 7 章（1 章ごとご視聴いただけます）
- ●受講時間……各章 10～15 分
- ●受 講 料……3,300 円(税込)
- ●支払方法……クレジットカード (VISA、MASTER、JCB、AMEX、ダイナース／ 1 回払いのみ) にてお支払ください。
- ●受講期間……ご購入から 60 日以内
- ●受講形式……専用ページより会員登録後、パソコン・スマートフォン・タブレットからご受講いただけます。
- ●そ の 他……10 名以上での団体受講の開催希望等はお問い合わせください

【主催】NPO法人 日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会
【運営事務局】ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社
〒105-0022 東京都港区海岸1-9-11 マリンクス・タワー2F

TEL:0120-033-553
Mail:info@u-s-d.co.jp
https://u-s-d.co.jp/hfs/

詳しくはこちら

ご存知ですか？ ヒアリングフレイル

「ヒアリングフレイル」とは、聴覚機能の低下によるコミュニケーションの問題やQOL低下などを含み、身体の衰え（フレイル）の一つです。

聴覚機能の低下が認知症診断結果の過小評価に繋がる可能性などをわかりやすく伝えるために、2018年に東京大学名誉教授／一般社団法人高齢者社会共創センターセンター長である秋山弘子先生の協力の元、聴脳科学総合研究所 中石所長により示された新しい概念です。

※記載の所属・役職等は当時のものです。

※フレイルとは虚弱を意味する英語「fraility」からできた言葉です。その中で「ヒアリングフレイル」は耳の比較的軽微な機能低下の段階から国民への意識啓発を高めるために作られた概念です。（「フレール」と表記される場合も御座いますが、慣例的用いられる「フレイル」の表記とさせていただいております）

こんな症状があったら、ヒアリングフレイル かも・・・

- 周囲とのコミュニケーションがうまくいかない
- 家族との会話に参加しなくなった
- 部屋に引き籠ることが多くなった
- 大好きだったテレビを見なくなった
- 難聴か？ 認知機能の低下なのか？ 判断に悩む

「ヒアリングフレイル」提唱者
ヒアリングフレイルサポーター 認定講師

NPO法人 日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会
理事長
聴脳科学総合研究所 所長
国際医療福祉大学大学院 大学院生
医療福祉学研究科 保健医療学専攻 修士課程

中石 真一路

1973年東京都生まれ、熊本県育ち。熊本YMCA専門学校建築科卒業。
建築施工管理に従事し、その後東京デジタルハリウッドに入学。QRコードのチケットレス機能のビジネスモデル特許出願や、携帯電話にQRコードリーダーを入れるなどプランナーとしての実績をもつ。前職のEMIミュージック・ジャパンにて約3年に亘る研究の末、世界初となる耳につけない対話支援システム「comuoon（コミューン）」を発明。これまで不可能と言われてきた「スピーカーシステムによる聴覚障害者の情報アクセシビリティ」という新しい分野を確立する。2012年4月にユニバーサル・サウンドデザイン株式会社を設立、聴脳科学総合研究所所長として高精細音響が人体に与える影響や、聴覚リハビリテーションに関する研究を行っている。

USD-00000000000